

会派代表質問

地域防犯・空き家対策・白里地域の振興・農業振興・情報発信について

自 民

土屋 忠和 議員



問 社会不安である、住宅などを狙う窃盗や強盗を未然に防ぐ為に市ではどのような対策を行っておりますか。また、住宅環境に対し、市を挙げて防犯を目的とした防犯まちづくり講座や防犯セミナーの開催計画はございますか。お答え下さい。

答 近年、特殊詐欺や電話de詐欺などの犯罪ニュースが頻繁に伝えられており、県内、本市内においても同様な事件が発生しております。このような特殊詐欺や窃盗、強盗事件を未然に防ぐ為、市では市民の皆様に向けてホームページやSNS、防災行政無線、広報紙等で情報発信や注意喚起を行うと共に犯罪抑止に向けた防犯カメラの設置に取り組んでいるほか、日頃から防犯活動を行っている各地区の防犯組合、自主防犯団体とは情報の共有と見守りパトロール等に実施協力を頂き連携しながら防犯活動の強化を図っているところでございます。また、市では青色防犯パトロール講習会や出前講座を毎年実施しておりますが、ご質問のありました防犯を目的とした講座やセミナーにつきましては、防犯意識の向上や防犯対策に有効であると考えられますので、地域の実情を把握している警察署や関係機関と連携した上で、開催について検討して参りたいと考えております。

問 私は、令和5年12月第4回議会の中で、空家等対策計画の進捗についてを質問し、あれから1年が経過致しました。現在の空き家対策の進捗状況をご教示下さい。また、現在の進捗に伴い行政面での課題はありますか。もし、新しい課題があるのなら具体的に示して下さい。

答 本市の空き家対策を進める上で

関連質問

小倉利昭 議員



問 地域計画の進捗状況はいかがか。

答 各地区ごとに開催した座談会での地域ごとの課題や目標、担い手の位置づけなどを反映させた目標地図を含む地域計画案を作成しており、作成の済んだ各地区ごとに順次説明会を開催し、計画案の説明および協議を進めております。今後は、年度内の地域計画策定に向け、各地区ごとの説明会後、農業関係機関への意見聴取など引き続き進めてまいります。

問 スマート農業の多くが通信系の技術が活用されているが、本市における農業機械の自動運転の導入状況はどのようなか。併せて近隣自治体や千葉県内ではどのような状況か。

答 本市においては、導入事例について現在把握しておりませんが、今後トラクターなどの常用農業機械に設置する自動操舵装置の導入については予定されています。

また、東金市では、落花生の収穫適期判断にドローンセンサー、圃場の耕運に自動運転トラクターを導入、県内では、直進アシスト田植機や無人除草機の導入事例があると伺っております。

問 次に、小中川復旧工事の進捗状況はいかがか。

答 現在、原台橋から南飯塚橋までの洗堀箇所は合計10か所が確認されています。当区間においては、千葉県が工事を実施し、これまでに応急対応を含む7か所が完成しています。

今年度は今関橋上流右岸の復旧工事を昨年度から継続していますが、その他の損傷箇所も状況に応じ、順次工事を進めると伺っており、市といたしまして、早期復旧に向けて引き続き千葉県に要望してまいります。

関連質問

金森浩二 議員



情報発信について

問 市として情報発信にSNSを活用する上のメリットとデメリットをお答えください。

答 メリットとして、幅広い世代に最新の情報をいち早く発信できる有効な手法であると認識しております。デメリットとしては、フォロワー数が少ないと伝わる範囲が限定的になつてしまうと考えられます。また、拡散力が早い為、内容によっては慎重を期す必要があります。

問 SNSのフォロワー数の増加への取り組みをお答えください。

答 広報紙やホームページにSNSに関する記事の掲載、チラシの配布などを行っております。

問 SNSは発信頻度が高まる事がフォロワー数の増加に繋がります。今後の情報発信の活用方法についてお答えください。

答 現在活用している媒体を引き続き研究していくとともに、Instagramを新たに取り入れて、幅広い世代へ情報発信してまいります。

シビックプライドについて

問 市民に対し自分たちのまちを、さらに関心・興味を持って頂くためにどのような取り組みをしていくのか、お答えください。

答 各種イベントの開催や、児童や生徒に町探検など体験学習を実施しています。また、市内外に情報発信をする事が必要不可欠であるため、市広報紙やホームページをはじめ、SNSをもっと有効活用してまいります。

現在、市のSNSの発信は各課で行っているため、情報発信の窓口を一つにしてシティブロモーションのチームなどを作ってはいかがかと提案します。

個人質問

市の図書館や学校図書室を充実させ、豊かな読書体験の支援を！

黒須 俊隆 議員



問 文化庁が2023年度の国語に関する世論調査を発表しました。1か月1冊も本を読まない人が6割を超え、読書離れが進んでいる報告がされました。若者が長文を読めなくなり、判断力の低下が懸念されるという分析もあります。

本市における読書や図書館などに関する調査はありますか。

答 一般市民を対象とした読書等に関する調査は行っておりませんが、10代の市図書室の利用状況や読書傾向を調査するため、2年ごとに市内3中学校の2年生を対象に読書アンケートを行っています。このほか、市図書室が主催する歴史講座やリサイクル市などのイベントを通じて、読書等に関する市民ニーズの把握にも努めています。

問 児童・生徒の図書資料貸し出し数の変化はありますか。

答 児童・生徒の読書量に関して調査を実施したことはありませんが、令和4年度において、小学4年生以上の全児童・生徒に読書への関心などについてのアンケートを実施しました。本アンケートでは、読書をする事が好きか、家でも読書をしているか、朝の読書の時間が好きかなどを質問しています。小・中学生とも8割程度が、読書をする事が好きと回答を得ていることから、着実に朝の読書の習慣が根づいてきているものと考えております。

問 朝の読書運動は読書習慣が深まることに役立っていますか。

答 電子メディアが浸透した現在の生活環境においては、朝の読書の時間は本に触れる貴重な時間と考えます。わずかな時間でも継続すること、それぞれが好きな本でよいこと、感

想などを求めていることから、児童・生徒にとっては気軽に取り組みることが読書の習慣につながっていると認識しています。

問 学校図書館の整備方針や蔵書整備計画は策定していますか。

答 学校図書室の整備方針並びに蔵書整備計画等は策定していません。学校図書室の蔵書については、各学校の図書担当教職員が主体となって児童・生徒の主体的・意欲的な学習活動、読書活動が充実するように、児童・生徒や教職員の要望を踏まえながら新規図書の選定、購入を進めているところです。

問 以前、市内小中学校PTAの図書部、読書部の研修で、児童文学評論家から、学校図書館の本は、直ちに9割廃棄してより古い古いものが多いとのお話がありました。

小学生が大好きな恐竜、今では羽が生えていたと言われていますが、恐竜の図鑑に羽が生えているのはいないのか。冥王星が惑星なのか小惑星なのか。最古の人類はいつどの猿人なのか。最先端の科学は数年置きに変わっていきます。しかし教科書が変わるにはタイムラグがあり、遅れます。子どもたちには、最新の書籍を与えてあげたい。

5年ないし10年くらいの図書館整備方針や蔵書整備計画を策定して、図書館や蔵書をリニューアルしていく必要があると思いますが考えをお聞かせください。

答 子どもたちの知的好奇心を喚起する意味でも、本を読むこと、いろんな知識を得るということは大切なことだと思っております。議員提案につきましても検討していきたいと思っております。